

「じょうもり」を含む応募作品一覧

愛称	愛称の説明や込められた思い
A'JOMORI	AOMORIとJOMONの文字を組み合わせ、「一番シンプルに」「一番分かりやすく」確実に青森の縄文を伝えることができると思い、この「A'JOMORI」という愛称にしました。
A・JOMORI	読み方は「あ・じょもり」。青森と縄文を掛け合わせ造語。国外の方にも広く覚えてもらえるように、シンプルなネーミングにしました。
AJOMORI	青森と縄文をミックスしてみました☆
AO・JOMORI ひろば	青森の中にある縄文遺跡をイメージして、AOとMORIの間にJOMO(N)を入れ、耳馴染みの良い愛称にしました。※「ひろば」はつけてもつけなくてもどちらでも大丈夫です。
BASE じょじょもり	拠点となる青森の森の中にたくさんの青森縄文時代の空間を再現している様子。
JomoRe(ジョモリ)	英語で縄文はJomon, 遺跡がRemains. Jomo+Re =JomoRe(じょもり). 音がAomori(青森)や、シャモリにも似ているのもいいかなと。アオモリシャモリジョモリと覚えやすいかなと思いました。
JomoRe (読み方：ジョモリ)	青森と縄文のつながりを表現するため、「ジョウモン」と「アオモリ」を掛け合わせて「ジョモリ」とし、口にしたときに青森と縄文の一体感を感じられるようにしました。表記としてのJomoReは、Jomon Realityを省略したものです。これはVirtual Reality (VR) から着想しました。VRが仮想世界を現実のように感じさせるように、この施設も青森が誇る縄文の世界観をリアルに伝えるものであってほしい、という思いを込めました。頭文字を取るとJRになります。
JomoRee	縄文の森をイメージしました。みんなが集まる森のように癒やしの場所になってほしい。森の中はどんな時代も同じだと思うのでそこで縄文を感じて欲しい。そして青森の自然豊かな風景などの意味も込めました。
JOMORI	青森の縄文施設ということで、JOMONとAOMORIを掛け合わせてJOMORIを考えました。
JOMORI	縄文の「じょう」と青森の「もり」をかけてJOMORI(じょうもり)と名付けました。県民の皆さんをはじめ、国内外の方にも、もっと世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」のことを知ってほしい、という思いを込めました。呼びやすい愛称なので、皆さんに気軽に呼んでもらえると思います!
JOMOri	青森の「森」と青森の縄文情報盛りだくさんの「もり」、縄文情報の「縄、情」をとりJOMOri(じょうもり)にしました。riを小文字にしたのは、繋げるとnに見えてJOMOnに見えるなと思ったからです。ひとつの遺跡だけでなくさまざまな場所に行って縄文の繋がりを意識してみたい、そして青森の縄文好きが少しでも増えたら(青森縄文ファン盛りだくさんに!)と思いこちらの名前にしました。

JOMORI	縄文の「じょ」と青森の「もり」を合わせて縄文の森のようなイメージ。ローマ字にして海外の人にも親しんでほしい。
JOMORI	縄文と青森を親しみを込めて「縄森」にした。国外からの来訪者にも親しみがわくようにアルファベット表記にした。
JOMORI	保育園で縄文時代の青森の食べ物や暮らしを勉強しました。青森にはたくさんの遺跡があることをお母さんからも聞きました。縄文jomonと青森aomoriのアルファベットを組み合わせて、jomoriにしました。
JOMORI	青森と縄文をもじって言いやすいように、ジョモリにしました。
JOMORI	縄文と青森の一文字ずつ取り、縄森と書き「じょもり」と読みます。外国の方にも親しみやすいようにローマ字表記にしました。
JOMORI	縄文のJOと青森のMORIを組み合わせました。施設中央の大型モニターを設置している部分が森に生息する大きな樹木の幹のようにも見え、現代に残る縄文の森というイメージも浮かび、この愛称にしました。
JOMORI	縄文と青森を連想できる。キャラクター的で可愛らしい。外国の方にも読みやすい。
JOMORI	海外の人や日本語が読めない人でも読めるようにしました。
JOMORI	青森の「森」と縄文が「森」のように詰まっているということを表しています。
JOMORI	縄文遺跡に関する情報がギュッと詰まった施設、つまり縄文の森のような施設であると考えました。また、青森の「森」ともかけて、更に、外国の方でも読みやすくするためにローマ字にして、「JOMORI」という名称になりました。シンプルだけど、わかりやすく呼びやすいので、多くの人に親しみを持ってもらえると思います。
JOMORI	JOMONとAOMORIを合併してみました。
JOMORI	縄文と青森を掛け合わせました。呼びやすく覚えやすいので、県民だけではなく国内外の人に長く愛される名前を考えました。
JOMORI	一見、縄文と青森をかけたシンプルな愛称ですが、これらを英語にしたのには、一つ理由があります。実際漢字にしてしまうと一般では縄森となりますが、それだけではなく、情森ともなれるようにしたかったからです。私がこの愛称に込めた思いは、この場所を通してたくさんの人に縄文や青森についての情報を知ってもらい、よりこの青森を、縄文を好きになってほしいという思いを込めて考えました。
JOMORI	『縄文』と『青森』をくっつけて、みんなが覚えやすい名前にしました。
JOMORI	縄文と青森を組み合わせて、どちらの雰囲気も出て、なおかつ愛称なので呼びやすく覚えやすいよう、なるべく短くまとまるものにした。縄文の森、というイメージも醸せればというのと、海外の人にも広くわかりやすくアルファベット表記とした。

JOMORI	AOMORIとJOMONを合わせました。
JOMORI	青森といえはりんご、ねぶた、じょうもん！と、青森を世界中の人々に知って貰い、多くの人たちに遊びにきてほしい。
Jo-MoRi	jomonとaomoriを繋げた。呼びやすさを意識。
JOMORI WORLD	世界遺産である三内丸山遺跡を守るの「守り」と青森の「森」で「MORI」、縄文の「JO」、世界の人みんなに集まってほしいと思い「WORLD」を合わせて、「JOMORI WORLD」という愛称を考えました。
JOMORI (じょもり)	縄文の「JOMO」と青森の「MORI」を組み合わせました。シンプルで覚えやすく、二つの要素が同時に想起されるかと思えます。また、諸外国の方々にも、発音しやすいように工夫しました。
JOMORI (じょもり)	「じょもり、いぐべ」「じょもりで待ってらはんで！」色々考えましたが、津軽弁でじっくりくるのがじょもりでした。言いやすく、覚えやすいかなと。縄文あおもりからじょもりを取りました。海外の人でも読みやすくローマ字でイメージしました。
JOMORI (縄森)	日本の誇れる世界遺産が青森にあり、来場者の多角的視点で個々の感性を深めることができる森のように。また、ここに来れば青森の縄文文化に触れることができるという思いを込めて。また、青森の誇れる世界遺産なので青森の「森」を名前に含めた。
JO-MORI STATION	縄文の森と青森の縄文の意味を込めて『JO-MORI』と名付けました。青森の縄文の発信拠点として皆に愛され沢山の人が集う駅となりますように。
JO-Mori (ジョーモリ)	縄文と青森をかけて
JOMORIDOKI park	縄文と青森と土器を合わせて「ジョモリドキパーク」。わかりやすく、おもしろくしてみました。
JOMORI広場	JOMONとAOMORIを合わせ、さらに、「縄文(JOMON)が盛り(MORI)だくさんだ」という思いも込めました。
JO-MORI	「縄文」と「青森」をアレンジして、海外からの観光客にも呼びやすい愛称にしました。青森から世界へ縄文遺跡を発信したいです。
JO-森	青森県の縄文遺跡群の情報を集めた場所ということなので、森にしました。
あおもりジョーモリー	施設の真ん中に大きな木があって、テーブルやイスもきのこみたいで可愛くて森のようだったので、縄文と森を合わせてジョーモリーとつけたいなと思いました。
あおもり遺跡発信ひろば じょうもりあん	「じょうもりあん」は“縄文・リアン（仏語で、つながり・絆）・青森”の3つの言葉からの造語です。縄文時代からつながっている現代で古代に思いをはせながら、この施設で人と歴史、人と青森、そして人と人のつながりが出来たらいいなという想いをこめました。
あおもり縄文秘密基地じょうもり	シンプルかつわかりやすくポップなイメージで考えました。秘密基地は子供たちがワクワクしそうな言葉だと思い選びました。『じょうもり』はあおもりと縄文を合体させて可愛らしい感じにしました。

あづましい〜じょうもり〜(縄文の森)	人々がワクワクして集まり、語り合う施設になって欲しい。
しうこそ!じょうもり!	津軽弁で「ようこそ」の意味を取り入れました。縄文と青森を組合せて「じょうもり」にしました。
じょ〜もり	じょうもん と あおもり をくみあわせました。みんなにあおもりのじょうもんをしてもらえるとおもいます
じょい!じょうもり	じょうもん、あおもり、のふたつを合体させて「じょうもり」という言葉にしました。施設中央に大きく広がるジオラマが森の中枢に見え、そこからたくさんの方が青森の縄文文化に触れてほしいという想いを込めました。
じょうもり	じょうは縄文と情報を表していて、もりで青森と情報だったりがもりもりあるのを表現しています。
じょうもり	縄文と青森をかけて【じょうもり】という名前を考えました。 森には木が沢山あり、ここには縄文時代の情報が沢山あるので、両方関連性があるのもポイントです！ 子供から大人まで沢山の方に来て欲しいと思い、年代問わず馴染みやすい名前にしました。 少しでも参考になれば幸いです。 よろしくお願いします！
じょうもり	縄文の森という思いを込めました。
じょうもり	「青森」と「縄文」のそれぞれ1文字ずつ取って「じょうもり」にしました。みんなに分かりやすいように平仮名にしました。「あおもん」と「じょうもり」で悩みましたが、縄文を強調させたいので、「じょうもり」にしました。
じょうもり	縄文のじょう、青森のもりを合わせました。縄文遺跡が「青森と共に」栄えていってほしいと願う気持ちを込めました。
じょうもり 広場	じょうもりは「縄文と青森」「情報が盛り盛り」のふたつの意味
じょうもりい	縄文と青森を融合させました。
ジョウモリー	「青森の縄文遺跡群情報発信拠点施設」ということで、縄文と情報発信の「じょう」、青森の「もり」を組み合わせました。ジョウモリーという名前を通して、青森県内から青森県外の多くの人に愛され、縄文について知るきっかけになればいいなと思います。
じょうもりーあおもりー	縄文遺跡のことを知っている人は多いけれど、青森にあることを知っている人は少ないからもっと知ってほしい！！
じょうもりーな	「じょうもりーな」の「じょう」は縄文のじょうで「もり」は青森のもりで「ーな」はこの施設で「学びたいな」「行きたいな」「みんなで遺跡を盛り上げたいな」といったみんなの「したいな」の気持ちを込めたものです。
じょうもりっ!	縄文の「じょうも」と青森の「もり」を掛け合わせました! 「っ!」は青森の元気で明るい雰囲気少しでも感じられればと思いつけました!

じょうもりナビパーク	呼びやすく愛されるような名前にしました。
じょうもりランド	縄文と青森をかけてつけました。愛称らしく呼びやすく愛されるような名前にしました。
じょうもりランド	縄文と青森をかけてつけました。愛称らしく呼びやすく愛されるような名前にしました。
じょうもりん	『縄文・青森・りんご』をかけ合わせて作りました。誰もが呼びやすい、愛嬌ある名前にしたかったのでこの名前を付けました。親近感が湧く愛称で、沢山の人々に触れ合ってもらい、長く愛される施設になってほしいです。
じょうもりん	縄文遺跡群と青森が一つになるのをイメージし、そして親しんで呼べるように音としての響きを大切にしました。
じょうもりん	縄文と青森を掛け合わせ、呼びやすく親しんでもらいやすいように「ん」を付けました。また、海外の人にも覚えてもらいやすいように、短くシンプルな愛称にしました。国内外の老若男女から広く愛される施設になってほしいです。八戸在住なので少し遠いですが、開業したら私もぜひ足を運んでみたいと思っています。
じょうもりん	縄文と、青森特産のりんごを合わせました。親しみやすく、ひらがなで表しました。
じょうもりん	縄文と青森を足し、りんごからりんをとって名付けた。イメージキャラクターも作りやすそうな名前にした。
じょうもりん	一番広く知られている三内丸山遺跡がある青森県において縄文要素は大切だと思い、また青森の名物であるりんごの要素も取り入れたあとと思ったから。
じょうもりん	「じょうもん（縄文）」と「あおもり（青森）」をかけて、青森県の縄文遺跡群を分かりやすく幅広い世代の方々に知ってもらいたくて「じょうもりん」という名前にしました。
じょうもりんごパーク	縄文の「じょう」青森の「もり」青森県の特産物の「りんご」を掛け合わせました。リズムよく発音でき、青森県らしさが伝わるように考えました。「縄文の森、青森」のキャッチコピーから構想しました。
じょうもり館	『縄文』と『青森』を合わせ、更にひらがなで表記する事で、覚えやすく親しみやすくなるようにと名付けました
じょうもんの森JOMORI	青森と縄文を組み合わせてじょうもんの森として、言いやすく、また、世界にも通じるようJOMORIを加えました。
じょうもんの森-JOMORI-	青森と縄文を掛け合わせ、その2つを連想させる愛称にしました。また、外国の方でも覚えやすい「JOMORI(ジョモリ)」というローマ字表記の略称も付けました。森に木がたくさんあるように、縄文に関する情報がたくさんあるという意味も込めました。

じょーもり	『S`howMori』縄文のじょう、青森のもり、そして見せるという意味のshowを合わせました。縄文時代の色々な事を沢山の人に見せる事が出来て、国内外の人が楽しく縄文時代について学べる場になって欲しいという願いを込めました。歴史好きが集まって、青森を盛り上げてくれたらきっと、もっと沢山の人に北海道・北東北の縄文遺跡群を知ってもらえて、青森も発展できると思います。今はSNSが欠かせない時代だから、#じょーもり みたいなハッシュタグがあれば調べやすいし、色んなSNSでも盛り上がる事間違いなしです！
じょーもり	縄文と青森をかけ合わせました。施設には情報が盛りだくさんという意味も込めてじょーもりにしました。
ジョーモリ	"縄"文時代の青"森"を体感できる施設であることをから作成しました。また「モリ」には、「縄文時代から使われた"銚"」「"盛り"上がり」「自然豊か(杜)なエコの時代」の思いも込めました。
じょーもり	「じょーもり」には縄文、青森、森という3つの意味を込めました。私がこの施設概要を見た時、自然を感じました。またこの「じょーもり」という名前は青森と標準語で言う時と同じイントネーションをします。呼びやすい且つシンプルで青森、縄文らしいこの愛称、まさにこの施設にぴったりだと思えます。
じょおもり	縄文と青森の言葉の母音、イントネーションを掛け合わせました。青森県のさらなる魅力を発信できると思い、コンセプトの縄文に青森を組み合わせ、心を込めてつけました。
じょーもりー広場 (Joe Molly 広場)	人の『森』であり、情報が集まる+繋がる『森』で上昇にいく青森をイメージしてネーミングにしました
じょもり	縄文の(じょ)、青森の(もり)をとって、呼び親しみやすく、施設にも気軽に入ってみたくなるような愛称を考えました。
じょもり	「縄文」と「青森」をかけ合わせた言葉です。「じょもり」にこめた思いは、「青森県青森市で、縄文についてくわしく知ることができるから、みんなに縄文を学んでほしい、知ってほしい」という思いです。
ジョモリ	ジョウモン+アオモリで、ジョモリ。
じょもり	縄文の「じょ」と青森の「もり」をとって名づけました。子供でも親しみやすいよう可愛い名前にしました。森にたくさんの動物たちが集うように、たくさんの人が「じょもり」に集い縄文の魅力を知ってほしい、そんな願いが込められています。
じょもり	誰にもわかりやすい愛称。そして縄文の森から着想を得てかんがえました。また、「縄文文化を大切にすまち青森」の最初と最後でジョモリ、というダブルミーニングも含まれています。
じょもり！	青森と縄文が分かるよう、縄文と青森という単語を融合させてつくりました。多くの人目を引くためにエクスクラメーションマークを付けました。
じょもりA	縄文と青森を縮めてじょもり、青森のA「じょもりあ」と読みます！

じょもりい	施設の空間デザインが丸や円形を基調としていて、やわらかい雰囲気を感じたので「じょもりー」ではなく「じょもりい」にしました。
じょもりー	青森駅内にできる青森の縄文遺跡群情報発信拠点施設となる場所なので青森や縄文が連想されやすい愛称がいいと思いました。そこで縄文と青森をかけ合わせ短く小さい子からご高齢の方まで覚えやすく、県外の人でも親しみやすい愛称を考えました。
じょもりー	縄文とりんごを掛けてシンプルにかわいい名前を付けました。
じょもりー	縄文・情報発信のじょ、青森のもり、伸ばし棒（一）は縄をイメージしています。青森県だけではなく世界へも発信してほしいという願いを込めました。よろしくお願ひ致します。
じょもりー	縄文（じょうもん）と駅舎名（あおもり駅）を組み合わせました。駅舎名のひらがな表記に合わせ、同じくひらがな表記で短くシンプルに表すことで、語感の良さと楽しさで親しみやすく、語尾を延ばすことで名前が柔らかく、明るく、可愛らしさもイメージしました。
ジョモリー	青森と縄文の魅力を、いつでも、どんな人にも楽しんでほしいと思いました。
じょもりー	縄文×青森を組み合わせもので、あまり凝りすぎても分かりにくいと思ったので「じょもり」にしました。外国人にも国内の人にも言いやすく覚えてもらいやすいように4文字にしました。
ジョモリー(geomory)	縄文の「じょも」+青森の「もり」を掛け合わせ、呼びやすくしました。縄文遺跡群の壮大さを表すためにも、ジョを地球や大地を表す「geo(ジオ)」とあえて表記しています。
じょもりパーク	壮大で開放的で自由な空間にしたいくて、縄文の森のパークという意味で、つけました。
じょもりパーク	「縄文」+「青森」+公園を表す「パーク」を合わせた造語。公園のように気軽に訪れてもらえ、青森の縄文文化を感じてもらえる場所となるようにとの思いを込めています。
ドキドキ じょーもり	「ドキドキ」は「土器」とかけており、「じょーもり」は「縄文」と「青森」を組み合わせた言葉です。どういう施設なのかわかりやすいように、シンプルで短めのネーミングにしました。私はこの度三内丸山遺跡などを訪れてドキドキしたのですが、縄文遺跡に対してでなくとも色々なことに「ドキドキ」する気持ちは大切だと思ったので「ドキドキ」も入れました。待ち合わせ場所などにも使っていただけのような親しみやすさも意識しました。
ドキ土器プラザ じょーもり	縄文（じょうもん）と青森（あおもり）を、一つの単語で表現したいと考え、「じょうも」と「おもり」を繋げて「じょーもり」としました。縄文の「土器」を、胸の鼓動の「ドキドキ」に掛けました。「プラザ」は、「人が多く集まる場所」という意味だそうです。大勢の方が集まって、縄文時代の青森を体感し、胸が躍るような経験ができる施設になってくれるようお願いを込めて、このネーミングに決めました。
みなのじょうもり	みんなのじょうもん、あおもり、をくみあわせたことばです。みんなのせんぞたちが生きていたじょうもんじだいのいせきだから、みんなでだいじにしたいといういみです。

ゆーく jomori	悠久の縄文時代からより進化する青森。を繋げました。果てしなく、長く続く縄文時代からこれからの青森。地方が衰退していると言われていますが、ずっと古き良き文化と自然をたくさん残しながら青森がこれからも果てることなく勇ましく続いて欲しいとの思いでつけました
わくわく土器土器(どきどき)じょうもり	どきどきをあえて縄文時代にあった土器と掛け合わせて作りました。またじょうもりは縄文と青森をあわせてじょうもりにしました。
わっつど! じょうもり(縄森)	青森には、縄文の魅力がたくさん詰まっている(わっつど!)という思いで考えました。語呂も合わせて(縄文+青森)覚えやすく、インパクトの強い愛称にしました。
開け!あおもり!じょうもり!	元気が良くて語呂がいい。
楽しい縄文広場 ジョモリ	縄文と青森を合わせました。
青いJOMORI	JOMONと青森の森をかけて、JOMORI(ジョモリー)としました。青いをつけることにより、より青森らしさを感じさせるように。青森の自然と縄文を愛してもらえるように。また親しみやすい呼び名となるように。願いを込めました。
青森の縄文情報もりもり JOMOri	青森の「森」と青森の縄文情報盛りだくさんの「もり」、縄文情報の「縄、情」をとりJOMOri(じょうもり)にしました。riを小文字にしたのは、繋げるとnに見えてJOMOnに見えるなと思ったからです。ひとつの遺跡だけでなくさまざまな場所に行って縄文の繋がりを意識してみしてほしい、そして青森の縄文好きが少しでも増えたら(青森縄文ファン盛りだくさんに!)と思いこちらの名前にしました。
青森縄文ぶらざJOMORI	青森らしさ・縄文らしさを兼ね備えつつ、呼びやすく親しみやすい名前にしたいと考え、「JOMON」+「AOMORI」で「JOMORI」としました。「じょうもり」と読みます。
青森縄文案内施設AJOMORIの館	愛称は青森縄文案内施設AJOMORI(アジョモリ)の館(やかた)です。縄文をJOMOと表しAOMORIとも読めるようにしました。昨年家族で三内丸山遺跡を訪れました。小学校3年生の長男が遺跡を見て気になる事が沢山あった様子で家にあった縄文マップを見るようになりました。県内の方はもちろん県外の方にも沢山足を運んで欲しいと思い、みんなに親しみやす愛称として考えました。
青森縄文資料館 じょ～もり	「縄文」の「情報」が「盛りだくさん」という意味と、青森の「あーもり」という発音を組み合わせました。
縄もりねっと(じょうもりねっと/なわもりねっと)	「縄もり」は「縄文の森」を略したことばです。「ねっと」は情報発信拠点としての役割を示しています。親しみやすさと地域らしさを込めた呼び名です。
縄森	縄文が集まっていて明るく気持ちのいい集いやすい場所になるように。
縄森 JOMOR	縄文遺跡と青森の文字を一文字ずつ取ってJOMORとしました。
縄森(JO-MoRI)	縄文の森にみんな集まる気持です
縄森(じょうもり)	縄文の「縄」と、青森の「森」を合わせました。縄文と青森の結びつきを表現しました。



縄森/JOMORI	全国的にも「縄文の森」という施設は複数あるようなので、シンプルに縄文と青森を合体させた縄森（じょうもり）とした。ローマ字表記も併せて海外の方にも親しんでもらえたら良いですね。
縄森ステーション	縄文の遺跡群が青森にたくさんあること。そして情報を発信する拠点と世界に出発する列車の駅とかけてステーション。その二つから「縄森ステーション」と名付けました。
縄森ひろば	青森の遺跡に、誰でも集うひろばにしたいと思いました。
縄森ひろば	青森の森と、縄文の縄、愛着がわくようにひらがなの「ひろば」をかけ合わせて名付けました。この愛称には、縄文時代の出来事、生活様式、自然環境の情報などが様々な人に「森」のように広がってほしいという願いが込められています。
縄森ひろば	縄文の縄と青森の森をとりました。ひろばはみんなから親しまれるみんなが気楽に来れると言う意味が込められています。
縄森ひろば じょうもり	青森の縄文文化 自然が沢山で平和なひろば
縄森館	青森での縄文時代の遺跡を表した名前。
縄文ステーション じょモリ	青森駅に+ここから情報を発信の場ということで『縄文ステーション』、縄文と青森でじょモリという誰にでも分かりやすい愛称としました。
縄文センター じょもり	・縄文の「じょ」と青森の「もり」を合わせて、青森らしさ、縄文らしさを表現した。
縄文の森 じょもーり	森は木がたくさん集まってできるように、県内の縄文の情報が集まる、ここは縄文の森。青森の「森」を入れる事で青森県をイメージしやすく、そして愛称のじょもーりは呼びさすさも意識しました。
縄文の森JOMORI	縄文の森JOMORIの森は青森県の名前からとった森でもあり、森のように色んなものを見たり体感したりできる施設なので森を施設の名前に入れたいなと思いました。
縄文の青い森～じょうもり～	小さい子供にもわかりやすく、青森県の縄文の歴史だということもわかる名前にしました。また、親しみやすさについても考え、覚えやすく、言いやすいものにしました。
縄文ひろば じょうもり あおもり JOMORI AOMORI	縄文と青森を掛け合わせて「じょうもり」誰でも言いやすく、覚えやすく、わかりやすい愛称だなと思いました。
縄文ひろば 縄森	縄文の縄という漢字と青森の森を合わせて縄森（なわもり）にしました。
縄文へタイムスリップ ～縄森～	まず、縄文時代のことがわかる場所だよという事が若い子や外国人にも分かるようにタイムスリップという言葉をつかいました。また、縄文時代だとかたい感じがするので、青森と縄文をミックスして縄森にしました。これがみんなが呼んでくれて、楽しんでくれる場になったらとてもうれしいです！みんなで縄文時代へタイムスリップしてみたいです！
縄文情報ステーションあおもり JO-MORI	縄文時代の歴史や文化が青森から日本や世界に広がってほしい、そしてたくさんの人たちにその素晴らしさを知ってほしいという願いを込めてこの愛称を考えました。

縄文発信施設 じょーもり	「じょうもん」と「あおもり」を合わせて「じょーもり」にしました。また、「もり」がつくことで「縄文人が住む森」のようなところを想像してもらえればと思ってこの愛称にしました。
遊んで学ぼう！ JOUMORIひろば	国外の人にも来てもらいやすいようにローマ字を使用しました。 また、JOURMORIとは「青森の縄文」を略し「じょうもり」としたものです。